

## 第3 京都市を取り巻く社会・経済状況

### ● 本格的な景気回復に時間を要する日本の経済

百年に一度と言われる世界同時不況により、平成20年後半から大きく落ち込んだ製造業の生産活動は、海外経済の回復を背景に徐々に回復傾向にある。一方、内需の低迷や円高等による企業の収益悪化などにより、景気上昇の減速が懸念されている。

また、平成23年3月に東北地方太平洋沖で発生した未曾有の大震災も日本経済において大きな影響を及ぼすと考えられる。

### ● 新興国における市場の拡大と価格競争の激化

中国をはじめとする新興国の市場が急速に拡大し、世界経済の成長を牽引する力となっている。また、これらの国における製造業の技術力が急速に向上し、国内製造業の競争環境はますます厳しくなっている。

### ● 環境・エネルギー技術の進展

環境・エネルギー分野での研究開発が急速に進み、家庭用燃料電池や電気自動車が実用化されるなど、様々な技術の開発や製品化が進展している。

### ● 本格的な高齢化社会を迎える中、医療・介護・健康分野の産業の市場拡大

高齢化が急速に進展する中、医療・介護・健康分野の市場が大きく拡大することが見込まれている。国の成長戦略においても、「ライフ・イノベーション（医療・介護・健康分野革新）」として戦略分野に掲げられており、2020年までに新規市場50兆円、新規雇用284万人との予測が提示されている。

### ● 高い成長を示しているクリエイティブ産業\*市場への期待

近年、クリエイティブ産業が注目され、イギリスをはじめとする先進国や中国、韓国などでは産業政策としてその振興に力を入れており、高い成長を示している。

### ● ライフスタイル（生活様式）の変化と競合輸入品の増加

国内消費者のライフスタイルの変化や海外の低価格の輸入品の増加により、伝統産業製品\*等の需要は低迷している。

※クリエイティブ産業

概ね「個人の創造性や技能、才能に由来し、また知的財産権の開発を通して富と雇用を創出しうる産業」と定義され、広告、美術、工芸、デザイン、ファッション、映画・ビデオ、TV・ゲーム、音楽、出版、コンピュータソフトなどの分野を指すとされている。

※伝統産業製品

「京都市伝統産業活性化推進条例」に基づき、73品目を伝統産業に指定している。